

フルードマイスター

△▽△▽ ご使用上の注意 ▽△▽△

- ⚠ プレーキフルード以外の液体使用や、他の用途での使用はしないでください。
電池交換、フルード補給以外の分解、改造は絶対にしないでください。



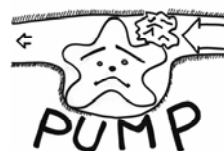
- ⚠ 直射日光が当たる場所または、それ同等の光が当たる場所ではご使用しないでください。
光の乱反射により、センサーが誤作動を起こしポンプが停止しくなります。



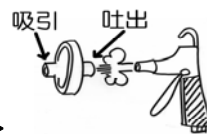
- ⚠ 本タンクは、完全密閉されていませんので、フルードの保管には適しません。
ゆすったり、倒れると、フルードが漏れますのでご注意ください。



- ⚠ 汚れたフルードに、吸引機能は使用しないでください。吸引側にはフィルターがありませんので、内部のギアポンプが破損し使用できなくなります。



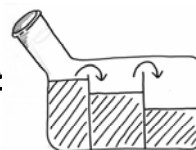
- ⚠ タンク内のフィルターは、適時エアなどでクリーニングしてください。
汚れのひどい場合は、補修部品と交換してください。<フィルターには向きがありますので注意してください>



- ⚠ 乾電池は徐々に電圧が弱まります。供給が追いつかなくなったら交換してください。
当社実測では、アルカリ乾電池での35時間連続作動で、吐出量が300cc/min
まで低下します。センサーの誤作動原因にもなりますので、早めの交換をおすすめします。



- ⚠ 車種によっては、リザーバタンク内部の仕切板が高い位置にあり、そのため、
一番奥の液室にフルードが供給されるまで、時間がかかる場合があります。(キャランなど
この場合、センサー検知位置をMAXレベルより高めにセットし、少し時間をあけて、
ポンプが完全に停止するのを確認しながら作業をおこなってください。



- ⚠ センサーは汚れに敏感で、誤作動を起こすことがあります。作業初めは、センサーが
液面を感知して、供給が停止することを確認するまで、すぐにOFF(中央位置)
できるようスイッチに指を掛けておいてください。



- ⚠ センサー部は特に汚れを嫌います。誤作動の原因になりますので、ご使用後は、
すみやかに保護キャップを取り付けてください。
また、適時きれいなブレーキフルードですすぐなどのクリーニングをしてください。

